
バーバラ・アレン

* 麻桜 *

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バー・バラ・アレン

【NZコード】

N5676D

【作者名】

* 麻桜 *

【あらすじ】

母が死んだ次の日にブチはうちにやつてきた。頑固な父が拾つてきた猫。そんなブチは母のように父を慰めてくれたのだろうか。母は幸せだったのだろうか。

ブチがうちに来たのは母のお葬式が終わった次の日だった。ブチは既に大人で、父が喪服姿のままぶらつと出かけて拾ってきた猫だった。

体に大きなほくろのような斑点が一つあり、父は既に「ブチ」と呼んでいた。

暑い夏の日で、ヤミがうるさい日だった。

ようやくお葬式の片付けが終わり一息ついていた私は父の笑つている姿に驚き、少し腹立たしくもなつた。

母は家族のためにすべてを尽くした人だった。
頑固者の父に21歳で嫁いだ母は、一度も仕事をさせてもらえないかった。

女は家を守るもの、これが父の口癖だった。

いわゆる田舎ものでどうしようもなく何もできない父を、母は文句一つ言わず家を守り抜き、そして死んだ。

「どうしたの？ その猫」

父に問いかけると

「拾つた」

とぶつときらぼうな返事が返ってきた。

「子猫でもないのに、飼つつもりなの？」

私の問いかけに父は何も答えなかつた。

母は自分の人生に満足していたのだろうか。

そう思つと情けないやら悔しいやらでいっぱいになつた。

父との生活は母にとつてどんなものだったのだろう。

いい服もいいバッグも、美容院にさえ行かせてもらはずまるで牢屋に入れられた犯罪者のように、父は母をがんじがらめにしていた。

私が結婚する時、母に言われた事がある。

「自分の信じたようにやりなさい。そして、幸せになりなさい」

母は幸せだったのだろうか。

母の幸せとはあんな生活だったのだろうか。

母への思いを馳せ父の方を見ると、父はブチの背中を撫でながら軽い鼻歌を歌っていた。

『バー・バラ・アレン』

スコットランドの民謡でバー・バラといつ少女を愛した男が死んでしまい、その男性を愛していたバー・バラも後を追って死んでしまうという歌。

どこでこの歌を知ったのか、父の鼻歌はまさにこの歌だった。

父は笑ってなんかいなかつた。

母の代わりであるかのように、ブチを抱きしめ、歌うことをやめなかつた。

かされた声でうつむきながら。

母がいなくなつてから、父の生活はみじめなものになつてしまつた。家事を一切した事のなかつた父は自分一人では何もできず、私と妹のどちらかがなるべく実家にいられるようになつた。

そんな私たちにも父は「早く旦那さんのところへ帰りなさい」とその言葉だけ繰り返すのだった。

縁側でぼ~っと窓を見つめたり、ボロボロになつた古い本を出して読んでいるかと思えば寝室から全く出てこない日もあつた。

そんな時、唯一ブチと過ごしている時間だけ父が生き生きしているよつに見えた。

私は、まだ少し父を許せないでいた。

そんな父も去年死んでしまつた。

母を追いかけるよつに、母が死んだ次の年に。

心臓発作だった。

父の書斎に入ると、いつも読んでいた一冊の本が田に付いた。

何気なく手にとつてみると本の裏表紙に母の字でこう書いてあった。

「愛を込めて・・・あなたへ」

母は幸せだった。

窮屈な生活でも、父と一緒にいたことが母にとって何よりの幸せだったのだ。

私は涙をこらえながら『バーバラ・アレン』を口ずさんだ。愛し合う一人のように、同じ墓で永遠に眠つてもらおう。

「バラのソタは決して解けない愛の絆」

父と母の物語は、決してロマンティックなものではないけれど、この曲と共に一生胸に刻んでこつけ。

私の足元でじゅれているブチを抱き上げてぎゅっと抱きしめると、父の匂いがした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5676d/>

バーバラ・アレン

2010年12月26日14時14分発行